

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 21 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	駅前広場施設管理運営費				
担当課係名	観光課	観光施設係	作成者	伊藤誠孝	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画のページ 33
	基本計画	公共交通の利便性の充実			
	主要施策	角館駅及び田沢湖駅の利便性の向上			
予算費目	一般会計	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	
事業期間	平成 年度	～ 平成 年度	新規/継続の区分	継続	
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				
根拠法令等					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	観光情報センター「駅前蔵」、スタシオン、ポケットパーク、駅前駐輪場、駅前広場の利用者のために施設管理を行う。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	仙北市の観光振興(観光案内、情報提供等)と観光客並びに鉄道、バスの利用者の利便をはかる。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	観光情報センター「駅前蔵」における観光案内、スタシオン、ポケットパーク、駅前駐輪場、駅前広場を安全に利用していただくために施設管理運営を行う。

【事務事業の推移】

		項目	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	
効果	活動指標	広場面積	目標	m ²	7,000	7,000	7,000
			実績	m ²	7,000	7,000	7,000
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
	成果指標	駅利用者	目標	人	100,000	100,000	100,000
			実績	人	110,188	72,965	49,932
			達成度	%	110.2%	73.0%	49.9%
投下コスト	項目		総事業費	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	21年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)			9,320	9,059	9,551	
	人件費(B)			2,421	2,378	2,417	
	職員数			0.30	0.30	0.30	
	職員平均人件費			8,071	7,925	8,057	
	(A)+(B) 投下コスト			11,741	11,437	11,968	
	財源内訳	国庫支出金			0	0	0
		県支出金			0	0	0
		地方債			0	0	0
		その他			0	0	0
一般財源			11,741	11,437	11,968		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			1,677	1,634	1,710	
	市民1人当たりのコスト(円)			373	368	391	

【事務事業の今までの成果】

訪れる観光客に対する観光案内、観光情報の提供と鉄道等利用する者への利便を図ることができた。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	秋田県南の観光交流拠点
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	県内外から多くの観光客誘致のため広報・宣伝を行う。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
C 1	A 現状のまま継続（実施）	利用者の安全確保のための施設管理運営はよいが、観光客数が減ってきている。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

利用者の安全確保のための施設管理運営と、利用者増をはかるために、多くの観光客誘致のため広報・宣伝等を行う。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
C 1	指定管理者制度は継続すべきと考えますが、仙北市T I Cや関係機関との連携を強化し、利用者数の増加を図る取り組みが必要であると考えます。

